

事業所名	ウノおおた				公表日	2025 年 3 月 5 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学習室と指導室を分け、適切に活動ができるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令が必要とされている基準以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		分かりやすいよう視覚化し文字や図・絵などで情報が入りやすいようにしています。	玄関周りはバリアフリー化していないので、必要に応じて対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		保健衛生に気を配り清潔で落ち着ける環境になっています。また、活動に合わせたスペース作りをしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習室と指導室の使い分けをしています。必要に応じて個別使用もできます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		始業前のミーティングや会議を行い課題を話し合う機会を設定しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適宜アンケート調査を実施し業務改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日ミーティングを行い、意見等を出し合いながら業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後必要に応じて導入していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修を行い資質の向上を図っています。	外部研修に参加する機会を確保していきます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページや会報で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にモニタリングを行い、個々に合った支援計画の作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		チームの共通理解のもとで、検討が行われています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		サービス計画を共有し、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所のアセスメントツールを活用し、細かい聞き取りや観察を行いスムーズなサービス利用につなげています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき、個々に応じた具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで話し合い、個別プログラムや集団プログラム作りを行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		学習・運動・体験学習等、様々なプログラムを用意しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせながら柔軟な活動プログラムを作成し、活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		始業開始前のミーティングで、その日の業務内容ややる割りについて確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎等で時間がかかる状況もあり、可能な範囲で実施しています。できなかった場合は翌日のミーティング時に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々必ず一人ひとりの記録を取り、職員間で共通理解をして支援の検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、個々に合った支援計画の作成を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		基本活動を組み合わせ、個々に合った支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択の幅が広がるよう、選択肢を提示してある程度の見通しが立つようにしています。	「できた」「分かった」「やってみたい」「やってよかった」等の経験を積み重ね、選択肢を増し自己決定力を育てていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		子どもの状況を把握した児童発達支援管理責任者が参加し、きめ細かい情報提供を目指しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各機関と連携をした体制づくりを行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定・過予定、送迎時などで適切に情報を共有し支援しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			保護者の同意のもと、必要に応じて情報共有・相互理解に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	—			今年度はありませんでしたが、移行する利用者がいた場合は情報提供を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今年度は助言や研修を受けませんでした。今後連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流が図れるよう、地域の公園やぐんまこどもの国児童館などを利用しています。	地域の児童館を利用するなどして、他の子どもと交流する機会を作っていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今年度は参加しませんでした。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳、電話やメール・LINE等を活用し保護者と共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者の負担軽減につながるよう、情報提供を行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時には、重要事項説明書や利用契約を活用して説明を行い、当事業所のサービス理解をお願いしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成前に聞き取りを行い、意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容を説明し計画の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別相談があった場合は専門職が対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今のところ保護者同士で交流する活動支援はしていません。ニーズを把握しながら対応していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	保護者からの提言や相談についてはその都度迅速に対応し、職員間で情報共有を行い対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	会報(ウノだより)を発行し情報発信を行っています。	発行回数を増やしていけるように努力します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報が記載された書類は鍵のかかるキャビネットに保存して管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	入所時面談で事前に状況を把握しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		規模が小さいため、行事等で地域住民を招待することはしていません。今後機会があれば検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各マニュアルを整備し、防災・防犯訓練等を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	非常時に備え訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	保護者から詳細な聞き取りを行い、全職員で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	事前に保護者から詳細な聞き取りを行い、実際におやつで提供するものについて確認してもらっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画に基づき必要な研修や訓練を行い、安全管理が十分な中で支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	子どもの安全確保については安全計画に基づき、家族へ説明している。	会報等を活用して家族への周知を徹底していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	その都度記録して残してあります。事例集を共有し、教訓を生かす取り組みを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止マニュアルを活用して、年1回以上研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束適正化のための指針を活用して年1回以上の研修を行っています。		